

鈴木康彦業績

論文

- 1971 年 7 月 「静学のおよび動学的非代替定理に関する覚書
—結合生産物が存在しないケースを中心として—」, 商学論集 第 40 巻
第 1 号。
- 1973 年 3 月 「静学モデル、動学モデルおよびヴィンティジ・モデルにおける
非代替定理」, 商学論集 第 41 巻第 3 号。
- 1976 年 1 月 「リニア・プログラミングによる経営管理の分権化」, 商学論集
第 44 巻第 3 号。
- 1976 年 12 月 「線型計画法におけるいくつかの分解原理について」,
オペレーションズ・リサーチ、Vol.21 No.12。
- 1980 年 7 月 “The Decomposition Algorithm of Linear Programs by the Direct
Allocation of Resources,” 商学論集 第 49 巻第 1 号。
- 1980 年 9 月 「Dantzig-Wolfe の分解原理における全体最適と部門最適の関係」,
商学論集 第 49 巻第 3 号。
- 1982 年 3 月 「分解原理による事業部の固有資源必要量の決定」, 商学論集 第 50 巻
第 4 号。
- 1985 年 7 月 「Dantzig-Wolfe の分解原理のプログラミングについて」, 商学論集
第 54 巻第 1 号。
- 1986 年 7 月 「資源指導型分解原理のプログラミングについて」, 商学論集 第 55 巻
第 1 号。
- 1987 年 12 月 「資源指導型分解原理の収束性の改善について」, 商学論集 第 56 巻
第 2 号。
- 1989 年 5 月 「線型計画法にもとづく企業の分権管理」,
松水征夫他編「現代経済の制度と組織」, 有斐閣、PP.214-225。
- 1991 年 3 月 「多目的計画法における非劣等性について」, 商学論集 第 59 巻
第 3 号。
- 1991 年 10 月 「多目的計画法における非劣等集合の生成：加重法について」, 商学論集
第 60 巻第 1 号。
- 1992 年 3 月 「多目的計画法における非劣等集合の生成：制限条件法について」,
横浜市立大学論叢 第 43 巻第 2・3 合併号。
- 1996 年 3 月 「多目的計画法における非劣等集合の生成：NISE 法について」,
商学論集 第 64 巻第 4 号。
- 1999 年 2 月 「多目的線型計画法における理想解およびゴールと目的関数のウェイト
との関係について」, 商学論集 第 67 巻第 3 号。

- 2000 年 3 月 「AHP と多目的線型計画法との接合」、商学論集 第 68 巻第 3 号。
2003 年 2 月 「多目的線型計画法からみた活動分析」、商学論集 第 71 巻第 3 号。
2007 年 9 月 「AHP におけるもう 1 つのウェイト決定方法について」、商学論集
第 76 巻第 1 号。

学会発表

- 1985 年 6 月 「Dantzig-Wolfe の分解原理のプログラミングについて」、東北経済学会、
福島大学。
1994 年 1 月 “An Improvement of the Convergence in a Resource-Directive
Decomposition Algorithm,” Operations Research Society of America,
Williamsburg, VA, USA.

その他

- 1971 年 3 月 「価格理論による企業の分析—経済学では企業行動を
いかにとらえるか—」、日本能率協会『IE』第 13 巻第 3 号。
2000 年 5 月 「経営システムと情報」、新家健精・星野共二編『情報化と社会』、
八朔社、PP.144-156。